

分野 環境保全・資源管理／農林・水産業

キーワード 地域内循環／有機物の吸脱着過程／有機農業／脱炭素／土壌侵食／表層崩壊／防災

農耕地への有機質資材の施用による土壌有機物蓄積過程の解明とそのモデル化／河川懸濁物質および溶存物質組成に与える環境因子の特定とそのモデル化



環境学部 環境学科
大学院 環境経営研究科 環境学専攻
准教授

角野 貴信
KADONO, Atsunobu

SDGs 関連項目



● 研究内容

農耕地への有機質資材の施用による土壌有機物蓄積過程の解明とそのモデル化に関する研究では、堆肥等の有機質資材を農耕地に施用することにより、長期的に土壌へ蓄積する炭素や窒素含量を推定するシミュレーションモデルを構築し、土壌への温室効果ガス吸収量を予測したり、化学肥料に依存しない持続可能な農業を確立したりすることを目的とする。

河川懸濁物質および溶存物質組成に与える環境因子の特定とそのモデル化に関する研究では、土壌や地質、気象因子が、どのように河川中の懸濁物質や溶存物質の元素組成に影響を与えているのかを明らかにすることにより、流域全体からどのように河川へ物質が移行するのか予測するモデルの構築を目的としている。

● 想定パートナー

- ・持続可能な農業を行う農業従事者
- ・有機質資材製造業者
- ・土壌による炭素蓄積を温室効果ガス吸収源と考えたい企業
- ・流域内の土砂災害についてリスク管理が必要な企業や自治体関係者 など

● 応用分野

- ・有機農業などの持続可能な農業の確立
- ・土砂災害に脆弱な小流域の早期発見
- ・土壌管理に基づく循環型社会・脱炭素社会の確立

● 取組実績

- ・八頭農林水産物生産・移出・輸出協議会アドバイザーボード
- ・NPO法人思齊社
- ・アクス株式会社

● その他

・URL

<https://sites.google.com/site/kadonoslab/>

<http://yumenavi.info/lecture.aspx?GNKCD=g007308>

・SNS

https://x.com/a_kadono

<https://www.facebook.com/kadono.a>